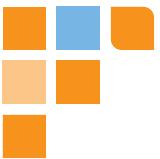




C O R P O R A T E P R O F I L E



まちを想い 未来を創る

日本の中枢機能を担う東京。
東京都の中央に位置するまち立川市。
にぎわいとやすらぎの交流都市を目指す立川市に
わたしたち、立飛グループはあります。
立川と共に歩む企業として、
不動産事業を通じて地域社会に貢献すること。
それがわたしたちの使命です。

President's Message



立飛グループは1924年(大正13年)に設立された立川飛行機株式会社を前身とする会社です 戦後は立飛企業株式会社と新立川航空機株式会社の2社に分社し 不動産事業と製造業を展開しておりましたが グループの所有不動産を一体開発して地域社会に貢献することを目指し 2012年にMBOにより2社を同時に非公開化してグループの再編を行い 現在の立飛グループが誕生しました

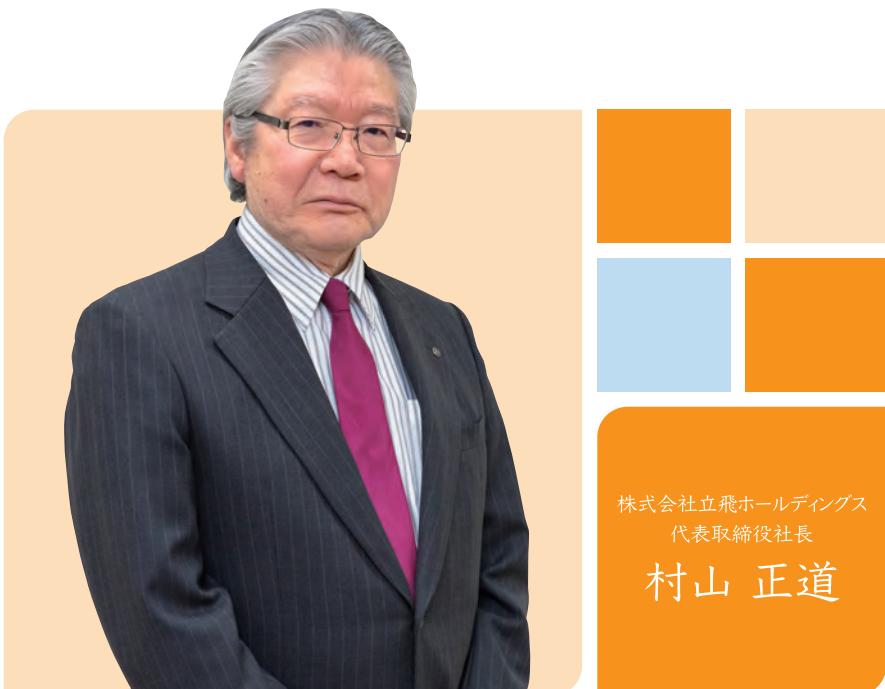
立飛グループが所有する東京ドーム21個分に相当する約98万m²の土地は 社会資本財であると考えています この土地を活用し地域社会と調和の取れたまちづくりを進め 多摩地区全体の発展と賑わいの創出を目指していくことが 立川と共に歩む私たちの責任であり使命です

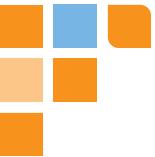
所有地のほぼ中央に位置する多摩モノレール立飛駅周辺に「アリーナ立川立飛」「ドーム立川立飛」「タチヒビーチ」などを開発し 大相撲夏巡業や「東レ パン パシフィック オープンテニストーナメント2018」をはじめ 多くのスポーツイベントを招致いたしました 街の活性化にはスポーツが一番という想いのもと プロスポーツチームへの支援も積極的に行ってます これらの取り組みによって東京都より「東京都スポーツ推進企業」に2015年から7年連続で認定され また経済産業省より「地域未来牽引企業」に認定されたことは 私たちの大きな励みになっています

また 立川駅北口よりほど近い場所に 立川を 多摩を変えるとの強い想いで ウェルビーイングをコンセプトとした街区「GREEN SPRINGS」を開発しました 最上階にインフィニティプールを有する「SORANO HOTEL」とともに 多機能ホール「TACHIKAWA STAGE GARDEN」を開発したことにより 芸術・音楽分野の公演を招致できるようになり 地域の皆さんに足を運んでいただけるようになりました

まもなく創立100周年を迎える立飛グループは これからも 地域のために 地域とともに 明るい未来を創造してまいります

今後とも皆さまのより一層のご支援 ご協力を賜りますよう よろしくお願ひ申し上げます



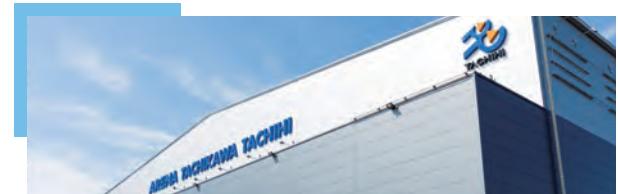


Our Policy

経営理念



不動産事業を中心
従業員の**幸**せを通じて社会貢献する



Corporate Logo

— コーポレートマーク —



TACHIHI
Traditional
Orange

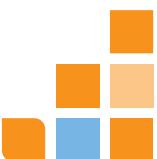
躍進・活力・融和

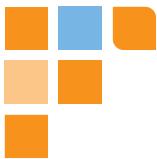
TACHIHI
Sky Blue

誠実・信頼・調和

かつて 陸軍飛行練習機「赤とんぼ」 戦闘機「隼」の製作を手掛けた「立川飛行機」以来の伝統とグループが所有する広大な土地の上に広がる空に思いを馳せ その空を飛翔する「飛」をイメージし 立飛企業株式会社と新立川航空機株式会社 中核2社を「幸せをすくいあげる両手」で表現しつつ それらがひとつになった姿として「赤とんぼ」に使用した伝統色のオレンジと無限の広がりをもつ「空」のブルーに託し 明日に向かって飛躍することを表しております

(平成24年11月1日制定)





Real Estate

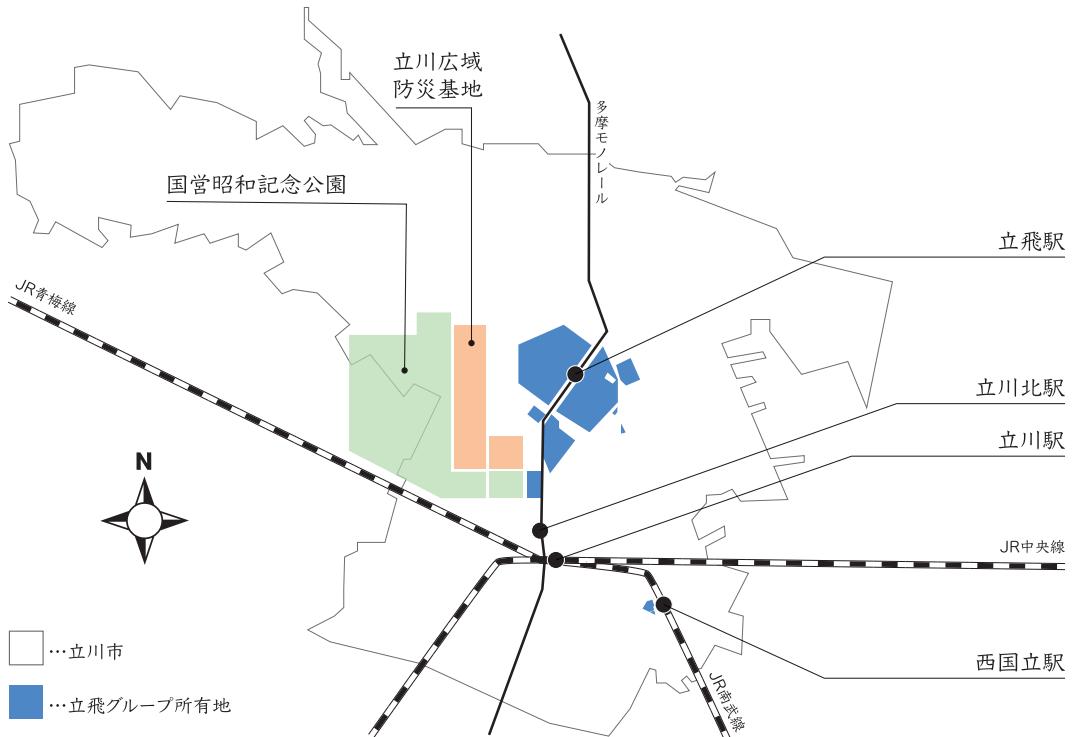
所有不動産について



立川と共に歩む企業として
地域社会と調和のとれた
まちづくりに取り組みます

東京都多摩地区の中心都市である立川市。
立飛グループは立川市のほぼ中央に
立川市域の約 25 分の 1 にあたる約 98 万m²の土地を
所有しています。





不動産開発の基本方針（3原則）

平成26年2月28日制定

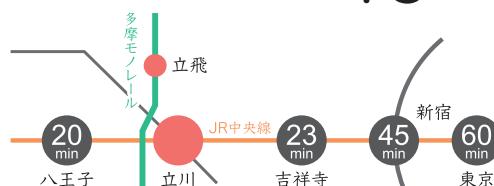
1. 所有する不動産について、その歴史、立地、面積に起因する社会的責任を自覚し、再開発にあたっては地域社会との調和を図る。
2. 持続的な地域社会へ貢献を可能とし、それを支える事業基盤の確立を図る。
3. 当社グループが主体性をもって不動産開発を推進する。

所有不動産の一体再開発についての計画を、外部の専門家等の提案を受けながら策定しています。敷地が広大なこと、多様な利用契約による制約が複雑なことから、必然的に長期間に亘る開発となります。

一貫性のある再開発を行うために、同方針を策定いたしました。

立地

立飛駅まで新宿駅から 約 **45 分**

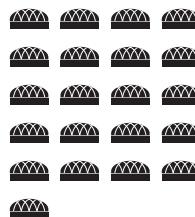


※羽田空港から 約100分 / 成田空港から 約180分

敷地面積

東京ドーム 約 **21 個分**

立飛グループが所有する約98万m²の土地は東京ドーム約21個分。これは立川市全体の広さの約25分の1にあたります。さらにそのほとんどが立川市の中心部、立川駅から約2km圏内に位置しています。

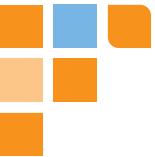


所有物件棟数

約 **140 棟**

倉庫	オフィス	工場・店舗・その他
38%	18%	44%

立飛グループが所有する物件棟数は約140棟。
倉庫、オフィスを含めさまざまなニーズにお応えします。



Business

事業紹介



立飛グループは**6**つの事業を中心
新たな価値を創造します

飛行機づくりから始まった立飛。
時が流れ、不動産事業主体となった今も
「時代とともに変化し続ける精神」のもと
多様に変化する社会的ニーズに対しグループ一丸となって、
迅速かつ的確に価値を提供し続けます。



01 Real Estate Leasing

不動産賃貸

所有する倉庫、オフィスビル、店舗や土地等、法人の皆様のニーズに合わせて最適な物件を提供しています。グループ収益を支える主力事業です。



03 Facility Management

施設管理

建物や設備を良い状態に保つため、定期的な点検や補修工事、故障の修理対応等を行っています。その他、清掃、植栽管理、電気設備の保守点検等、幅広いサービスでお客様のニーズに対応しています。

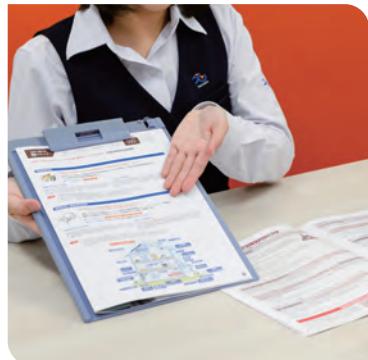


05 Insurance Agency

保険代理店

自動販売機による商品の販売
電算事務

自動販売機による飲料水等の販売や
保険提案を通じて、お客様のニーズに合
わせたサポートを行っています。



02 Real Estate Development

不動産開発

所有する約98万m²の土地の歴史、立地、規模による社会的責任を自覚し、地域社会との調和を図る不動産開発に取り組んでいます。



04 Security Services

警備

お客様と地域の皆様の安心と安全を願い、訓練により培われた高い警備技術と自衛消防技術を基礎として、警備（常駐・施設・交通誘導、雑踏等）業務に取り組んでいます。

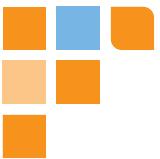


06 Hotel Business

ホテル事業 ビール製造・販売

従来のホテルの常識にとらわれない「ウェル
ビーイング」をコンセプトにした「SORANO
HOTEL」の運営をはじめ、クラフトビール
の製造、販売を行っております。





Tachihi Station Area Development Projects

立飛駅周辺の開発



立飛グループの前身「立川飛行機」が
駅名の由来である多摩モノレール 立飛駅。
立飛駅は、グループ所有地のほぼ中央にあります。
2012年に実施したグループ再編後、
地域経済への貢献を目指し、立飛駅周辺をはじめ、
所有不動産の開発事業に取り組んでいます。



タチヒビーチ(2017.7開業)

アリーナ立川立飛(2017.10竣工)



ドーム立川立飛(2021.3リニューアル実施)



MFLP立川立飛(2020.6竣工)



泉体育館駅

ららぽーと立川立飛(2015.12開業)



Fuji赤とんぼ保育園(2018.4開業)



AKATOMBO

Fuji

あかとんぼ

ほいくえん

(企業主導型保育事業)

立飛駅

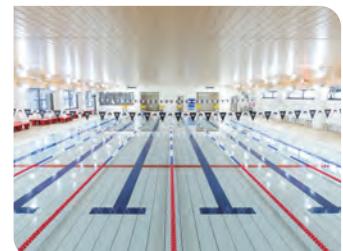
高松駅

多摩モノレール

立飛麦酒醸造所(2021.12開業)



金田スイミングクラブ
立川立飛(2020.12竣工)



GREEN SPRINGS

— 空と大地と人がつながる、ウェルビーイングタウン —



100年つづく、新しいしあわせを、
立川から世界へ

当社は、JR立川駅北口から徒歩8分の場所に位置し、国営昭和記念公園に隣接した緑豊かなエリアに、街区「GREEN SPRINGS」を開発しました。

心身ともに健康的で心地良い状態である「ウェルビーイング」を実現する新しいライフスタイルを立川から世界へ発信することを目指します。

多摩地区最大 約2,500席の多機能ホール「TACHIKAWA STAGE GARDEN」、最上階に温泉水を使った全長60mのインフィニティプールが話題の「SORANO HOTEL」、ライフスタイルを彩る約40の店舗や多様なワークスタイルを叶える次世代型オフィスを備えます。

SORANO HOTEL(ホテル)



PARK(中央広場)



TACHIKAWA STAGE GARDEN(多機能ホール)

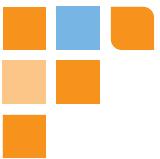


OFFICE(オフィス)



SHOPS&RESTAURANTS
(ショッピング・レストラン)





Social Contributions

地域社会とともに



立飛グループは立川と共に歩む企業として、
「地域で一番愛される企業」を目指し、
スポーツ、文化や環境等さまざまな分野を通じて、
地域貢献活動に取り組みます。



Sports

- ・パンナムスポーツ
事前キャンプの受け入れ(2021年)
- ・各種スポーツチームへの協賛
- ・夏巡業 大相撲立川立飛場所の開催
(2016年/2018年/2019年)
- ・立川シティハーフマラソンへの協賛
and more...



Arts and culture

- ・飛行機の修復及び見学会の展示
- ・立川立飛流鏑馬の開催
- ・ファーレ立川アート修復事業への支援
- ・アールブリュットへの支援
- ・立飛パブリックアートアワード2020の開催
and more...



Social activities

- ・所有地内の外灯をLED化
- ・花のあるまち推進事業への協賛
- ・クールビズの実施
- ・日本極地研究振興会の
SDGs/ESD事業への協賛
and more...

Our Vision

未来像



さらなる成長を目指して

かつて飛行機製作を通じて我が国の国策に大きく貢献し、長年に亘り、立川の地に存続してきた立飛グループ。

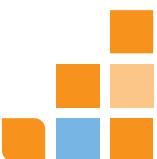
伝統を継承しながらも新しい方法（不動産開発）で、立飛のブランドや存在意義を再構築することを目指し、2012年、新生・立飛グループが誕生しました。

大規模・好立地の不動産を保有する社会的責任を認識し、これからも不動産開発やさまざまな活動を通じて、教育・文化・芸術・スポーツ等の分野で地域に貢献することを目指してまいります。



再構築 Re-Structure

2012年、所有不動産の一体開発を目的に、終戦により分かれたグループ内2社を再統合しました。





Company History

沿革



立飛グループの創業は1924年。
現在の東京都中央区月島に
飛行機の製作工場として
設立したことに始まります。

株式会社石川島飛行機製作所	
1924 (大正13年)	11月 ● 飛行機の設計、製作、販売を事業目的として株式会社石川島飛行機製作所を設立、現在の東京都中央区月島に工場新設。
1930 (昭和5年)	3月 ● 月島工場を廃止、工場を立川へ移転。
1934 (昭和9年)	12月 ● 軍用制式機「九五式一型練習機」(赤とんぼ)を製作(製作累計2,398機)。
	 <p>写真提供:航空ファン 陸軍九五式一型練習機「赤とんぼ」▲</p>
立川飛行機株式会社	
1936 (昭和11年)	7月 ● 立川飛行機株式会社に商号変更。
1943 (昭和18年)	● 中島飛行機株式会社からの転換生産である一式戦闘機二型・三型「隼」を製作(製作累計2,494機)。
1945 (昭和20年)	9月 ● 終戦により事業閉鎖、会社施設の大半を連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)が接收。事業閉鎖時の在籍総人員は42,332名。
1946 (昭和21年)	8月 ● 会社経理応急措置法により1946年～1955年まで特別経理会社に指定。
1949 (昭和24年)	11月 ● 企業再建整備法により、立川飛行機株式会社の現物出資で第二会社として「タチヒ工業株式会社」(後の新立川航空機株式会社)を認可設立。決定整備計画の認可により会社解散の登記。
立飛企業株式会社	
1949 (昭和24年)	11月 ● 接收を免れた江ノ島工場等の設備により、鋳金関係各種製品の製造販売業務を開始。
1951 (昭和26年)	4月 ● 立飛通商株式会社(現株式会社立飛プロパティマネジメント)を設立。
1952 (昭和27年)	11月 ● 立飛工業株式会社に商号変更。 ● 戦後国産第一号機R-52型軽飛行機(JA-3017号)完成。
	 <p>戦後国産第一号機「R-52型軽飛行機」▲</p>
新立川航空機株式会社	
	11月 ● 新立川航空機株式会社に商号変更。
1953 (昭和28年)	● R-53型軽飛行機(JA-3070号)完成。
1954 (昭和29年)	● R-HM型軽飛行機(JA-3094号)完成。
1955 (昭和30年)	5月 ● 株主総会の決議により会社を継続、立飛企業株式会社に商号変更。施設(立川製造所(現東地区、西地区))の賃貸が主要な事業となる。
1956 (昭和31年)	11月 ● 石川島播磨重工業株式会社(現株式会社IHI)と技術、経営両面で提携。
1961 (昭和36年)	10月 ● 東京証券取引所市場第二部に上場。 川崎工場(現栄地区)新設、新立川航空機株式会社の製品販売を推進。 ● 東京証券取引所市場第二部に上場。
1962 (昭和37年)	5月 ● 立飛通商株式会社の商号を株式会社立飛(現株式会社立飛プロパティマネジメント)に変更。
1964 (昭和39年)	11月 ● タチヒリベーセンターを開設、自動車整備、ガソリンスタンドの営業を開始。
1973 (昭和48年)	6月 ● 立川工場(現南地区)が米軍より返還され、自社使用分を除く設備により不動産賃貸業務を開始。
1976 (昭和51年)	5月 ● 立川製造所(現東地区、西地区)が米軍より返還となり、土地建物を貸倉庫並びに自動車置場として賃貸、以後不動産賃貸部門の強化を図り、自動車整備、ガソリンスタンドを縮小。
1977 (昭和52年)	11月 ● 一部未返還となっていた土地が返還され、接收されていた全資産が返還となった。
1982 (昭和57年)	6月 ● 株式会社立飛の商号を立飛開発株式会社(現株式会社立飛プロパティマネジメント)に変更。
1987 (昭和62年)	8月 ● 泉興業株式会社(現株式会社立飛サービス)設立。
1990 (平成2年)	6月 ● 自動車整備工場及び製造販売部門を廃止。栄地区に賃ビルを建設し、不動産賃貸の充実強化を推進。
1995 (平成7年)	8月 ● ビル・サービス部門を独立し、平成造園株式会社(現株式会社立飛リアルエステート)を設立。
	5月 ● 立川製造所(現東地区、西地区)の一部地域(多摩モノレール軌道周辺)が市街化調整区域から市街化区域へ指定替え。
	● 新立川航空機株式会社 ● 株式会社立飛ホールディングス

【凡例】 ●…株式会社石川島飛行機製作所

●…立川飛行機株式会社

●…立飛企業株式会社

●…新立川航空機株式会社

●…株式会社立飛ホールディングス

1998
(平成10年)

11月 ● 多摩モノレールが部分開業し、立川製造所(現東地区、西地区)内に立飛駅及び高松駅が建設される。

2003
(平成15年)

7月 ● 平成造園株式会社を立飛メンテナンス株式会社(現株式会社立飛リアルエステート)に商号変更。

2004
(平成16年)

6月 ● 立川製造所(現東地区、西地区)全域が市街化調整区域から市街化区域へ指定替えされる。用途地域は、準工業地域に指定。

2006
(平成18年)

3月 ● 構内中央を通過する多摩モノレール軌道下道路が公道(東大通線)として開通。立川製造所の名称を、東地区、西地区に変更。

12月 ● 2006年3月に社有地の一部を含む「立川基地跡地関連土地地区画整理事業」の整備工事が終了し、換地として現高松地区(20,242.72m²)が整備された。

2007
(平成19年)

3月 ● 立川工場(現南地区)内の事業部門(製造事業)を江ノ島工場へ集約。

2011
(平成23年)

8月 ● 2社に分断した所有不動産の一体開発による地域経済への貢献を主目的に石戸敏雄(前新立川航空機株式会社代表取締役社長)及び村山正道(前立飛企業株式会社代表取締役社長)によりMBOが実行される。

2012
(平成24年)

1月 ● MBO実施により、東京証券取引所市場第二部上場廃止。
4月 ● 株式会社立飛ホールディングスを完全親会社とする株式交換により、同社の完全子会社となる。

6月 ● 事業部門(江ノ島工場)を新設会社新立川航空機株式会社へ分割。

10月 ● 開発対象外の特定不動産の所有及び賃貸を、新設会社株式会社立飛リースホールドへ新設分割。

株式会社立飛ホールディングス

2013
(平成25年)

11月 ● グループ事業再編が完了し、新生立飛グループとして所有不動産の一体開発の検討を開始。

3月 ● 新立川航空機株式会社(分割新会社)の事業部門(江ノ島工場)が終了。立飛開発株式会社(現株式会社立飛プロパティマネジメント)が東京都公安委員会より警備業の認定を受ける(認定番号第30003815号)。

2013
(平成25年)

9月 ● 大型商業施設用地に転用のため、立飛開発株式会社(現株式会社立飛プロパティマネジメント)にて30年余運営してきたゴルフ練習場事業を終了。

4月 ● 「R-53型軽飛行機」及び「R-HM型軽飛行機」の2機を修復し一般公開。

11月 ● グループ創立90周年。
たっぴくん・たっぴちゃん登場。



立飛グループイメージキャラクター
たっぴくん・たっぴちゃん▲

2月 ● 立川駅北側国有地(現みどり地区38,878.07m²)を取得。

4月 ● 「オープンファクトリー2015春」開催。松本零士氏作成の「赤とんぼ」「A-26」イラスト贈呈式を行う。

7月 ● 株式会社立飛ストラテジーラボ設立。

12月 ● ららぽーと立川立飛開業。

8月 ● 効進元として、「平成28年夏巡業 大相撲立川立飛場所」開催。

10月 ● アリーナ立川立飛の運用開始。

11月 ● 立川立飛流鏑馬開催。

2月 ● 「立飛みどり地区プロジェクト」着工。

4月 ● Fuji赤とんぼ保育園(企業主導型保育所)開業。

8月 ● 「平成30年夏巡業 大相撲立川立飛場所」開催。
ドーム立川立飛竣工。

9月 ● 「東レ パン パシフィック オープンテニストーナメント 2018」招致。

11月 ● パンナムスポーツとの「覚書調印式」開催。

12月 ● 株式会社立飛スピタリティマネジメント設立。

5月 ● 旧料亭無門庵等不動産(現西国地区4,049.69m²)取得。

8月 ● 「2019年夏巡業 大相撲立川立飛場所」開催。

4月 ● 「GREEN SPRINGS」開放。



「GREEN SPRINGS」▲

6月 ● 「SORANO HOTEL」開業。
「MFLP立川立飛」竣工。

7月 ● 「TACHIKAWA STAGE GARDEN」開業。

12月 ● 「金田スイミングクラブ立川立飛」竣工。

2015
(平成27年)

2月 ● 「オーブンファクトリー2015春」開催。松本零士氏作成の「赤とんぼ」「A-26」イラスト贈呈式を行う。

7月 ● 株式会社立飛ストラテジーラボ設立。

12月 ● ららぽーと立川立飛開業。

8月 ● 効進元として、「平成28年夏巡業 大相撲立川立飛場所」開催。

10月 ● アリーナ立川立飛の運用開始。

11月 ● 立川立飛流鏑馬開催。

2月 ● 「立飛みどり地区プロジェクト」着工。

4月 ● Fuji赤とんぼ保育園(企業主導型保育所)開業。

8月 ● 「平成30年夏巡業 大相撲立川立飛場所」開催。
ドーム立川立飛竣工。

9月 ● 「東レ パン パシフィック オープンテニストーナメント 2018」招致。

11月 ● パンナムスポーツとの「覚書調印式」開催。

12月 ● 株式会社立飛スピタリティマネジメント設立。

5月 ● 旧料亭無門庵等不動産(現西国地区4,049.69m²)取得。

8月 ● 「2019年夏巡業 大相撲立川立飛場所」開催。

4月 ● 「GREEN SPRINGS」開放。



「GREEN SPRINGS」▲

6月 ● 「SORANO HOTEL」開業。
「MFLP立川立飛」竣工。

7月 ● 「TACHIKAWA STAGE GARDEN」開業。

12月 ● 「金田スイミングクラブ立川立飛」竣工。

2016
(平成28年)

2017
(平成29年)

2018
(平成30年)

2019
(令和元年)

2020
(令和2年)

製品紹介 -ものづくりの歴史-

1949年(昭和24年)～2013年(平成25年)

戦後、飛行機製造で培った技術・精神を生かし、洗濯機、カーヒーターから機械式駐車装置に至るまで数々の製品を製作しました。



1954
(昭和29年)
タチヒ電気洗濯機生産開始。



「タチヒ電気洗濯機」▲

1958
(昭和33年)
工場用暖房機(ユニットヒーター)、J-47ジェットエンジン部品生産開始。



「モノポールリフト」▲

1961 10月
(昭和36年)
カーヒーターの製造販売を開始。



「モノポールリフト」▲

1963 10月
(昭和38年)
自動車用エレベータ(カーリフト)生産開始。
二段昇降式駐車装置開発。

1965 9月
(昭和40年)
輸出用ステレオ、ラジオの製造販売並びに機械部品加工事業を開始。

1968
(昭和43年)
紙塗工機用スキヤップドライヤー生産開始。

1971
(昭和46年)
I柱式自動車整備用リフト、二段昇降式駐車装置、業務用食器洗浄機生産開始。

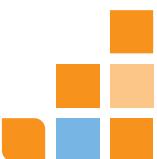
1979 6月
(昭和54年)
T-64、TF-40、F-100、T-56ジェットエンジン部品、宇宙ロケット用部品生産開始。

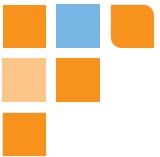


「機械式駐車装置(スペースキット)」▲

1987 5月
(昭和62年)
機械式駐車装置(スペースキット)シリーズ生産開始。
抄紙機ヘッドボックス用ハニカルチューブ生産開始。

2007 12月
(平成19年)
江ノ島工場(事業部門)「品質マネジメントシステム「ISO9001」及び「航空宇宙品質マネジメントシステム「JISQ9100」を認証取得。



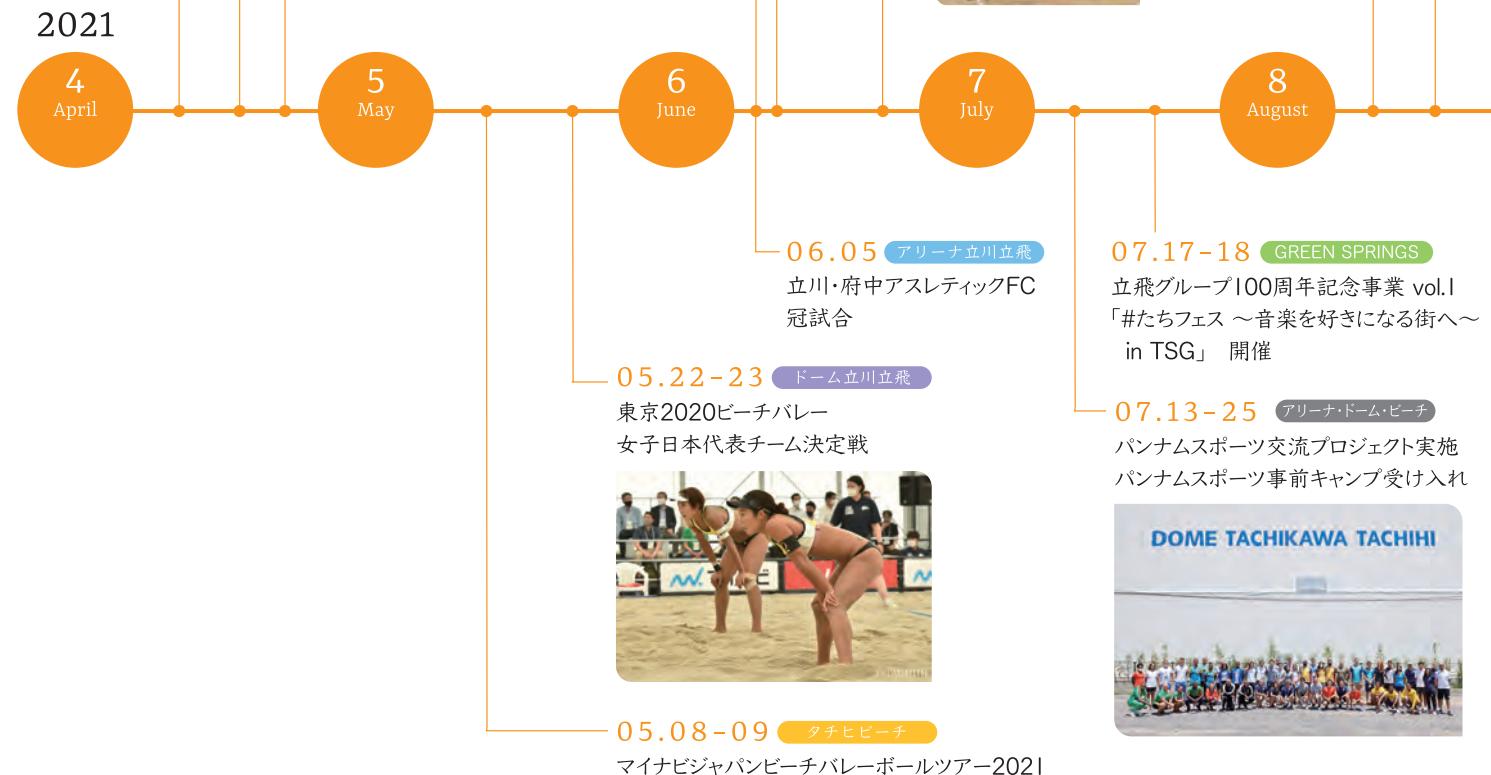


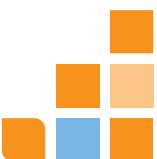
Current Year

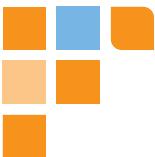
——立飛グループのこの1年——



立飛グループは、立川と共に歩む企業として、
地域社会へ貢献したいという想いのもと、
さまざまな活動に取り組んでいます。







Company Overview

会社概要



会社設立年月日	平成23年7月26日 (グループ創立年月日 大正13年11月1日)
本社所在地	〒190-8680 東京都立川市栄町六丁目1番地 立飛ビル3号館 TEL 042-536-1111(代表)/FAX 042-536-1272
代表者名	代表取締役社長 村山正道
資本金	15百万円
株主	株式会社立飛パートナーズ
事業内容	グループ持株会社 グループ経営方針策定 グループ財務・広報 グループ総務・経理 グループ及び自社所有不動産開発 新事業推進 宅地建物取引業(東京都知事(2)第95692号)
グループ従業員数	292名(嘱託を含み役員顧問は含まない)

令和4年4月1日現在

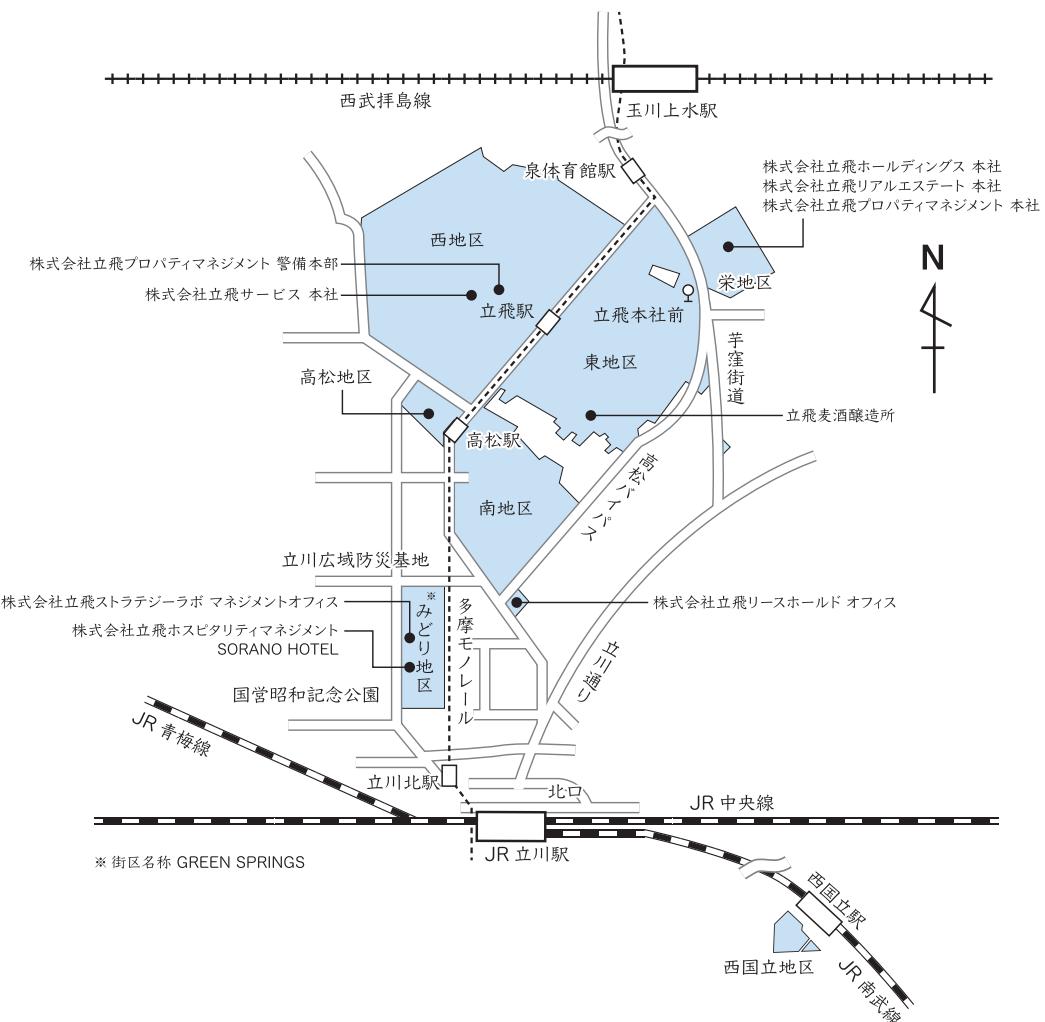
TACHIHI Group

傘下グループ企業

会社名・住所等	事業内容
株式会社立飛リアルエステート 〒190-8680 東京都立川市栄町六丁目1番地 立飛ビル3号館 TEL 042(529)1111/FAX 042(536)1110	開発対象不動産の所有及び賃貸
株式会社立飛リースホールド 〒190-0011 東京都立川市高松町三丁目1番5号新立川ビル5階A室 TEL 042(529)1112/FAX 042(529)1113	開発対象外の特定不動産の 所有及び賃貸 住宅開発
株式会社立飛サービス 〒190-8680 東京都立川市泉町935番地27 236号棟 TEL 042(536)5501/FAX 042(529)7970	自動販売機による物販 保険代理店 電算業務
株式会社立飛プロパティマネジメント 〒190-8680 東京都立川市栄町六丁目1番地 立飛ビル3号館 TEL 042(527)5556/FAX 042(536)7776	警備業(警備業法認定番号: 東京都公安委員会 第30003815号) 不動産管理関連業務 建築物清掃業 (登録番号:東京都29清第1047号) 産業廃棄物収集運搬業 (許可番号:第13-00-185066号) 登録電気工事業 (登録番号:東京都知事登録 第275179号)
株式会社立飛ストラテジーラボ 〒190-0014 東京都立川市緑町3-1 W2 2階(GREEN SPRINGS マネジメントオフィス) TEL 042(524)2240/FAX 042(524)2241	不動産の開発企画他 宅地建物取引業(東京都知事(1)第101306号) 飲食運営及び物販
株式会社立飛ホスピタリティマネジメント 〒190-0014 東京都立川市緑町3-1 W1 (SORANO HOTEL内) TEL 042(540)7777/FAX 042(540)7851	ホテル運営 ビール製造・販売

Map

所在地



<https://www.tachihi.co.jp/>



TACHIHI group makes the future a better place.